

第8回小田滋賞選考経過及び授賞式の開催

一般財団法人国際法学会は、国際法、国際私法、国際政治・外交史の分野における研究を普及し、とくに将来を担う若手研究者の育成を促進するために、「小田滋賞」を設け、同分野に関する優秀な論文を顕彰しています。第8回小田滋賞の募集には、23編の応募があり、その内訳は、国際法18編、国際私法1編、国際政治・外交史4編でした。また、応募者には16名の学部生が含まれていました。

応募論文の審査は、予備審査委員会による予備審査と選考委員会による選考の2段階に分かれます。予備審査の結果、7編の応募論文が最終選考の対象となりました。そして、これらの論文について、代表理事から選考委員に委嘱された桐山孝信教授、早川眞一郎教授、古城佳子教授による厳正な選考が行われ、その選考結果に基づき、2021年7月12日（日）に開催された第49回理事会は、第8回小田滋賞の受賞者を以下のとおり決定しました。

最優秀賞

該当者なし

優秀賞 2名

新子 泰平（関西学院大学法学部4年） 研究分野：国際政治・外交史

河合 慶一郎（京都大学大学院法学研究科修士課程1年） 研究分野：国際法

奨励賞 3名

大辻 航暉（日本大学法学部4年） 研究分野：国際法

鳥居 雅也（東京大学法学部4年） 研究分野：国際法

長澤 宏（早稲田大学大学院法学研究科修士課程2年） 研究分野：国際法

授賞式は、研究大会総会（オンライン）において開催され、開会の辞のあと、兼原敦子代表理事から、小田滋賞の趣旨と今回の選考の経緯が説明された後、受賞者の名前が発表されました。また、受賞者の皆さんには、表彰状および選考委員の先生方からのご講評が郵送されています。受賞者および応募者の皆さんのますますのご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

国際関係法教育委員会

委員長 森 肇志